

故障かな?と思ったら

症 状	考えられる原因	処 置
表示が不安定になる 異常な数値が出る 数値が変化しないなど	・測定棒が土壌の中の石、肥料等の有機物に触れた。	・測定棒をきれいに拭いてから、測定地点を変えて測定してください。
	・測定棒が鉢の内壁あるいは底部に近過ぎる。	
	・土壌が乾き過ぎている。	・水をまいて手で土が握れるくらいにしてください。
	・測定棒の周りの土壌の分布が不均等。	・土壌を良くかき混ぜてください。
	・測定棒の周りの用土の粒が大きい。	・測定棒に用土がしっかりと当たるようにしてください。

仕 様

●本体

電源	ボタン型アルカリ電池LR44×3個(市販品)
電池寿命(目安値)	連続使用時間約12時間 ※新品のボタン型アルカリ電池LR44使用時。 ※電池寿命は使用条件により異なります。
サイズ	約幅47×高さ275×奥行28(mm)
質量	約50g(電池含まず)
測定対象	土壌酸度・地温

●測定対象

土壌酸度	pH3.5～pH9.0 ※0.1単位での表示となります。(精度±0.5)
地温	-9～50℃ ※1℃単位での表示となります。(精度±1℃)

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。
また、図と製品が異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

株式会社 高儀 お客様相談窓口

※製品性能・品質・取り扱いに関するお問い合わせは・・・

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00 (土日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただきますが、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。



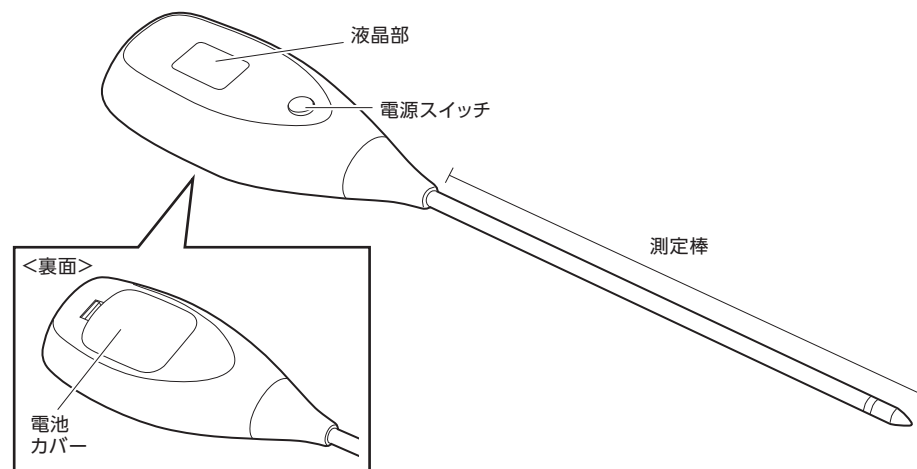
デジタル土壌酸度・地温計 取扱説明書

取扱説明書の内容を十分に理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

△ 使用上の注意

- 土壌測定以外の用途には使用しないでください。測定棒を水・その他液体の中に挿しこまないでください。
- 本製品の測定値は大きな値です。精度が必要な作業には使用しないでください。
- 電池は指定されたもの(LR44)を使用してください。
- 本製品は防水タイプではありません。雨中・水のかかる場所では使用しないでください。
- 測定部を素手で触らないでください。
- 測定棒が土に密着するようにしてください。密着しない土・砂や粒状のものは計測できないことがあります。
- 測定する土壌に肥料が多く含まれている場合、正しい数値を表示しない場合があります。
- 土壌改良後は、土壌が安定するまで1～2週間程度かかりますので注意してください。
- 測定棒で土の塊をほぐしたり、テコの代わりに使用しないでください。
- 測定棒が挿さりづらいときは、水でさらに土壌を湿らせてください。無理に挿し込むと測定棒の曲がりや折れの原因となりますので注意してください。
- 本体は垂直に土壌に押し込んでください。
- 電池の寿命は、使用頻度・電池の種類・周囲温度等により異なりますので注意してください。また、電池の交換は早めに行ってください。
- 電池交換するときは、新旧混ぜたりせず、3個同時に行なってください。
- 電池が外しづらい場合は、お手持ちの精密ドライバー(⊖)などを隙間に差し込んで取り外してください。
- 使い終わった電池はお住まいの地域の収集方法に従って捨ててください。
- 本製品を金属に接触させないでください。保管時は他の金属又は工具と一緒に工具箱などで保管しないでください。
- 本製品は測定棒の先端が尖っていますので取扱いに十分注意してください。また、安全のため、衣類のポケットなどに入れて持ち歩かないでください。
- 使用後は汚れを落としてください。汚れた状態で放置するとさびや変色、故障の原因となります。さびた場合は目の細かいサンドペーパーなどできれいに磨いて使用してください。
- 落としたりぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たらない・お子様の手の届かない場所で保管してください。
- 50℃以上の環境で保管しないでください。
- 長時間使用しない場合は電池を抜いてください。(電池液漏れ・故障の原因)

各部名称



ご使用の前に

石灰をまく前・まいた後に土壌酸度の測定をしましょう。

石灰をまく前の測定は、石灰の使用量の目安を知るためです。まいた後の測定は、pH値が適正かどうか確認するためです。

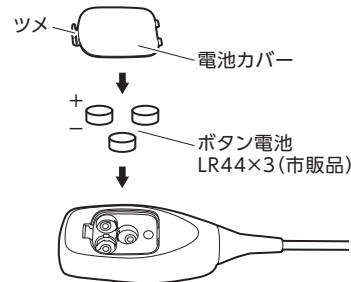
どうして石灰をまくの？

雨が多い日本では、土の中の石灰(カルシウム)や苦土(マグネシウム)が流れ出し、酸性に傾きがちです。石灰をまいて、土壌酸度の調整をしましょう。石灰を散布せずに野菜を育てると、根をいためたり、根の働きや養分の吸収が阻害されたりして、生育に悪影響を及ぼします。栽培を始める前には石灰を散布して、適正な酸度に調整することが大切です。

電池の入れ方

本製品には電池は付属されていません。

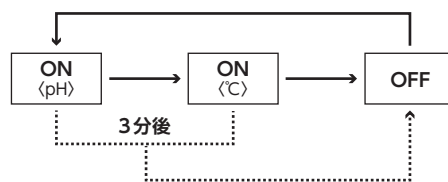
1. 本体裏面の電池カバーをツメを押しながら外します。
2. 電池ボックス内をよく確認し、電池を正しい向きで入れます。
3. 電池カバーを元に戻します。



使用方法

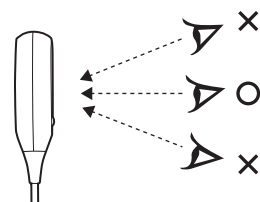
スイッチ操作

- 電源スイッチを押すごとに、「ON(pH)」 「ON(℃)」 「OFF」が切替わります。「ON(pH・℃)」にしてから約3分経過後、自動的に「OFF」になります。再度表示したい場合は、もう一度電源スイッチを押してください。



液晶表示の見方

- 液晶部を正面から見て数値を読み取ってください。
※斜めの角度などから見ると液晶の文字が全て表示されて見えにくいことがあります。



土壌酸度の測定

1. 測定棒を布などできれいに拭き取ります。
2. 電源スイッチを押し電源を入れます。
3. 土壌に垂直に挿し込みます。
4. 液晶部に土壌のpHがでます。測定開始後30秒以上経過後の数値を読み取ってください。
5. 数回に分けて違う場所を測定し平均値を算出してください。



※0.1単位での表示となります。(精度±0.5)

POINT

土壌が乾きすぎているとpHの測定が安定しない場合があります。測定の20～30分前に水をまいて土壌を作りましょう。



土の硬さは手で土が握れるような柔らかさを目安に、泥団子のできる程度の硬さまで水分を入れてください。水分が全体に行き渡るようによくかき混ぜて、土を作ります。



土と測定棒に隙間があると正しく測定できません。周りの土を手で抑え込んでください。



土壌酸度早見表

pH	作物名
5.0～6.0	じゃがいもなど
5.5～6.0	とうもろこし・すいか・さつまいも等
6.0～6.5	とまと・なす・きゅうり・かぼちゃ・いちご・ピーマン・だいこん・にんじん・キャベツ・ブロッコリー・たまねぎ・リーフレタス等
6.0～7.0	えだまめ・スナップエンドウ等
6.5～7.0	ほうれん草など

※数値は参考値です。地域や環境により、表記数値と異なる場合があります。

地温の測定

1. 測定棒を布などできれいに拭き取ります。
2. 電源スイッチを2回押し電源を入れます。
3. 土壌に垂直に挿し込みます。
4. 液晶部に土壌の地温がでます。測定開始後30秒以上経過後の数値を読み取ってください。

※測定部を土に挿し込んでいない場合は、その場の環境温度が表示されます。

※1℃単位での表示となります。(精度±1℃)